



令和5年
10月1日
第33号

発行
内外政治
研究G
代表 宮田修一

自民が男系継承策で集約へ 首相が政調会長に「議論加速」指示

自民党の萩生田光一政調会長が9月末、産経新聞のインタビューで、安定した皇位継承について「私のもとで受け皿を作っていくかなければならない」と述べ、停滞している党内議論を進める考えを強調しました。

た。政調会長の続投にあたり、岸田首相から「皇位継承策の見直し作業を急がなければならぬ」という問題意識を示されたことも明らかにしました。また、緊急事態条項だけでも改憲案を出すべきとの考えを示しました。

岸田首相は令和3年9月の総裁選で「旧宮家の男系男子が皇籍に復帰する案も含め、女系天皇以外の方法を検討すべきだ」と明言。今年2月の党大会では、「先送りの許されない課題」と強調しています。

皇族の養子とする案も提示しており、議論は国会に委ねられています。静謐な環境での議論は必要ですが、先導すべき自民党自身が「寝た子を起こすな」との党内の女系天皇容認派への遠慮からか、報告書を活かそうとする努力を怠ってきませんでした。

立憲代表「基本は先例、男系、直系」

その意味では、首相の意を体した萩生田政調会長の発言は注目に値します。

党三役人事で男系継承派とされる森山裕代議員が総務会長に抜擢されたことも

辺野古最高裁判決や毒物流出隠蔽 沖縄玉城知事「末期症状」露呈

沖縄県の玉城知事が末期症状とも言える様相を呈しています。

名護市辺野古への基地移設計画を巡り、最高裁は先月末、地盤改良の設計変更を認めなかった同県への国交省の「是正指示」を適法としました。玉城知事は「承認は困難」としていますが、国は「代執行」の手続きに入る予定です。「困難」と言うのは、自ら承認を行えば、「オール沖縄」の支持を失い、自身の存在をも

喜ばしいことです。野党では、維新が皇位の男系継承を明確にしていますが、立憲は党内に左派の女系天皇派を抱えています。しかし、泉代表自身は今年2月の「チャンネルくらら」(倉山満氏主宰)で「先例、男系、直系、やっぱり基本はそういうことだ。続いてきた意味や重みを受け止めて出来る限り踏襲するというのが大前提だ」と語っています。

否定することになるからです。最高裁の判決には逆らえないので、「代執行」を待つしかないのです。

知事は判決に先立つ19日に、スイスの国連人権理事会で「基地移設は民意に反する」と訴えましたが、県庁の地下駐車場から有機フッ素化合物

“魔女狩り”報道を許すな

東京・台東区の「自民」に激励メールを！

東京都台東区議会での自民区議の松村智成氏がLGBT理解増進法の成立を受けた区の取り組みについて質問した内容に、朝日や毎日など「魔女狩り」とも言える報道を続け、共産党も訂正などを迫っています。

松村氏は、埼玉県の小学校高学年用のリーフレットを取り上げ、「こうした偏向した教材や偏った指導があれば『同性愛』へ誘導しかねません」などと懸念を示しました。記事は松村氏が差別主義者であるかのような印象を読者に植え付け、

(PFOS)が漏れ出した重大事故を伏せていました。米軍施設からのPFOS流出に激しく批判してきた経緯もあり、さすがの地元の左派マスコミも批判を強めています。

26日には、与党会派控え室で、議会休憩中に県職員が飲酒していた事実も発覚。同席の県議は「自分たちは飲酒していない」と説明しており、あまりの不自然さに県民はあきれかえっています。

一切の批判や懸念を許さないというスタンスです。本紙も第29号(8月1日発行)で指摘しましたが、埼玉県のリーフレットは、「性差」自体を否定するような表記があるほか、「同性愛」について、わざわざ手を繋いだイラストを載せて「どれも大切な気持ちです」と注釈しています。保護者からは「小学生に、わざわざ同性愛の『大切さ』を説く必要があるのか」という疑問が出ています。



産経新聞
1項目でも合意なら提出

産経新聞
1 自民・萩生田政調
会長インタビュー

松村区議
質問全文

台東区議会
自民党議員団
ご意見お問合せ